

# 南高 同窓会会報

発行所  
四日市市大字日永字岡山  
三重県立四日市南高等学校  
同窓会  
TEL.059-345-3177  
www.4nan.jp/~dousou/



## ご挨拶

会長 粕谷 邦男

同窓会の皆様には、ご健勝でますますのご活躍を心よりお慶び申し上げます。

南高創立50周年を2年後に控え、盛大で立派な式典になります様に着々と準備がなされています。母校のより良い発展の為に、皆様のご理解とご支援をいただき大いに祝いたいと思っております。

昨今、景気が上向き加減とは云え「二ト」や「フリーター」など若者を取り巻く諸問題は、不安定な日本を浮き彫りにしています。南高生がしっかりと足取りで着実に21世紀を渡られることを祈って止みません。

昭和36年当時、情報や娯楽は今日程ありませんでした。

ちっぽけな南日永の駅には吉永小百合のこっと笑った映画のポスターが、暗い受験生活の中に一滴の清涼剤として毎日迎

えてくれました。世の中にこんなかわいい娘が存在するのかと、田舎者のにきび面にはショックでした。同い年でした。

三益愛子の母物語しか知らなかった女性の生き方を「キューポラ」のごとく貧しくとも力強く、前向きなのは、同時に四日市石油コンビナートの高度経済成長とダブるのです。いつも街中のどこかで、ガタンゴトンと工事が行われ、新幹線・東京オリンピック・大阪万博へと猛スピードでした。

学校行事として楽しみな映画鑑賞会が四日市駅前の「シネマ」でありました。「風と共に去りぬ」では二人の女性の異なる生き方。風間校長のバイオニア精神をピアノ・リーを通して我々に教えたのではないか。二五先生の現国の授業で、映像についての感想文を読んでいた

だき感激ものでした。

「ベン・ハー」では、今の世の「勝ち組、負け組」「金儲けが何が悪い」と云う若者達に是非見てもらいたい。誠実まじめ・家族愛・忠実がラストのハラハラドキドキの大スペクタクルを乗り越えるのです。「ウエストサイド物語」では、佐々木生徒指導部長の「内容は非行・不良の話だが、ミュージカルとして芸術性の高さ、アメリカが抱えている民族性の問題を考えなさい」との諸注意を受けてのスクリーン。

高田浩吉や美空ひばりが劇中で歌うのとはちと訳が違う。アメリカの映画界はこんなにも進んでいたのか。

古き良き時代の三本だったが当時の先生方は粋な授業をしてくれた。現代のハイテクを使ったCG画像や奇抜な大きい脅しの音響、目まぐるしい早いテンポ…。それはただそれだけの作品なのです。

情報過多の昨今、我を見忘れずに人にやさしく、自分に厳しい世の中になる様に願っている一人です。

2006年 夏



## 後輩達も がんばっています

学校長 中村 秀文

会員の皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は南高発展のためにご理解とご支援をいただき誠に有り難うございます。さて、母校は2008年の3年後には創立50周年を迎えます。そこでこの4月に50周年記念事業準備委員会を設置し、活動を始めたところです。どのような内容を盛り込むか校内はもちろんのこと同窓会、PTAなどのご協力を得てみなさんに喜んでいただける行事にしたいと考えております。

登城ヶ丘は今年も新緑に彩ら

れ、グラウンドや体育館、柔道場また、県下に2つしかない50メートル公認プールから新入部員達の元気な掛け声が響く、素晴らしい季節を迎えております。この5月末には県総体を終え、6月2日(金)には体育祭をにぎやかに、同窓生のみならずにはなつかしい伝統の騎馬戦や棒取り、登城ヶ丘駅伝(本年復活)、応援パフォーマンスなどを主たる種目として行ったところです。日頃の教育活動の中で、同窓会のネットワークで大変お世話になっていて、各県で活躍しているOBのみなさんをお招きし、キャリア意識を育むために、それぞれのお仕事について経験談やら苦労話を聴かせていただく「ようこそ先輩」という事業をやっております。今年はその3回目になります。6月28日に行われたいし、2年生を対象に開催いたしました。それぞれ、三重県職員、歯科医、自動車販売業、養護学校教員、自動車部品メーカー管理職、ジャズピアノリストの方で本年も好評のうちに終了するものが出来ました。

また、昨年度の進学状況は国公立合格者105名、私立文系266名、私立理系303名(以上、いずれも延べ人員)、短大及び専門学校54名、公務員1名、浪人等19名という結果でした。生徒達は後期の最後まで頑張りぬき、立派な成果をあげてくれました。

いづれにしても、部活動と学習の両立を推奨し、「知・徳・体」のバランスのとれた人材の育成に努めたいと考えています。今後とも50周年記念事業をはじめとして先輩のみなさんのご協力・ご支援をいただきますようお願いいたします。

部活動も従前に増して活発で、昨年度も今年度もクラブ参加率は運動・文化で全校生徒の約90%となっており、多くの生徒が苦勞をいとわず、文武の両道めざして、頑張っています。本年度、女子ワンダーフォーゲル部は県総体で4連覇を達成し、さらに東海大会で優勝という偉業を成し遂げました。また、サッカー部は県総体でベスト8になり力をつけてきました。東海大会へは女子ワンダーフォーゲル、女子柔道団体、陸上部が個人2種目、男子がワンダーフォーゲル部、水泳部(個人・リレー合)合わせて17種目が出場しました。文化系では演劇部が昨年度、県大会で優勝し、中部大会で優良賞をいただき、ブラスバンド部は優秀賞、囲碁部が全国高文祭に出場しました。

(平成18年7月)

# OB講演会

平成18年6月28日

2年生を対象に様々な職業の同窓生による講演会が行われました。



多田歯科医院院長

多田 望 氏 (18期生)

「医療従事者の喜怒哀楽」とのタイトルで語っていただきました。「患者さんからの『ありがとう』に生きがいを実感。医療従事者の得られる喜びとは、『自己満足ではなく、他者満足』です。相手の満足を自分の満足にすることが出来るかどうかという事です。『予約が入っている以上、休むことはできません。自分の健康管理も大切です。』

「皆さんには自分の夢を決して捨てず、何ごとも不可能だと諦めず、自分の進路を実現してください。」の言葉は、生徒の胸に深く刻まれたことでしょう。



アイシンAW(株) 技術本部

伊藤 昌典 氏 (20期生)

サンヨー電器でのワープロから携帯のメール開発の話、そしてアイシンAWへと技術系の仕事の話をしていただきました。

「高校時代に勉強をなぜするのか?」「自分は名前の残る仕事がしたかった」、「開発にはデ

ザイン・ソフト・骨組みなどいろいろな分野がある」など、興味深い話が盛りだくさんでした。

質問タイムには、以外な質問もたくさん出て、なかなか雰囲気よく講演を終わりました。「失敗したときにまわりのせいにならず、何とかしてやろう」という気持ちが大切である」という言葉が印象に残りました。



三重県政策部企画室

企画担当 主事

森戸 美樹 氏 (30期生)

さまざまなイメージで語られる「公務員」。その公務員のあるりようをお話しいただいた。

これまで全く異なる四つの職場に勤めた経験に基づき、どの職場・場面においても、人と

のコミュニケーションが重要なこと、転勤を自らの成長の機会にとらえ、目標を一つひとつ達成していくことが大切なこと、配属が希望と違っても、希望実現のための一つのステップとして前向きにとらえることなど、具体例を交えて語られました。

生徒たちは進路を考えていく上で、また生きていく上でアドバイスとして、しっかりとうけとめているようでした。



青山商事 事業家

青山 賢治 氏 (31期生)

「おもいっきり『エイッ!』と飛び出してみよう」

この言葉に象徴されるように青山氏は熱く、時に冷静に、生徒の魂に届けとばかり自らの思いを語りかけた。そのことばには様々な体験を経て、人生を真剣に生き、挑戦を続けた人間にしか醸し出せない真実の響きがあった。ビジネスだけでなく人生にも指針となる、多くの貴重な話も語っていただいた。

「人とのつながりを大切に」「あきらめない」「常識とは?」

イマ風の生徒には少し難しい話もあったかもしれない。しかし将来、理解できる時がくるであろう。彼らが真剣にこれからの人生を送るならば、この講演は真剣味という萌芽を生徒にもたらしてくれたはずだ。



ジャズピアノリスト

植田 友紀 氏 (31期生)

地元出身のミュージシャンの中でも、植田さんは今後ますますメジャーになるジャズピアニストだと思えます。現在東京中心にTV番組に出演されたりライブ活動をなさっていますが、

定期的に名古屋や四日市のライブハウスにも出演され東海地方のファンも多いようです。

南高時代は「たいへんモテた」

そうですが、失恋して13キロ痩せてますもてたという件では聞いているみんなからため息が漏れました。南高を選んでよかったこと、東京の音楽大学を選んでよかったこと、アメリカの音楽院に進んでよかったこと、すべてに対してポジティブに考え自分の人生を切り開いて行こうとする有紀さんの姿勢に感動させられました。



県立養護学校北勢きらら学園教諭

加藤 雄 先生 (39期生)

昨年講師として南高に勤務され、教科、クラブ活動などでお世話になった生徒も多く出席する中、教師を志望し始めた中学時代から多忙な大学生活、現在の職場のことなどを話していただきました。「教員採用試験・講師とは」など資料をもとにした具体的な説明に生徒達は真剣に聞き入り、その後の質問も活発でした。

「やりたい事に向かって頑張る。そして諦めない。」実践してこられた加藤先生の言葉は生徒達の胸に響きました。「教師になる気持ちを強くした。」という生徒の感想が寄せられました。

# 同窓生の近況

The Recent State

四日市市議会議員

早稲田大学大学院研究生

水谷正美 (23期)

高校時代に学んだ代表的な漢籍は論語だった。当時、熱心にご指導いただいた古市先生の授業は多くの人生訓を含むものだったので鮮明に記憶している。論語の「為政」には、「子曰く、吾十有五にして学に志し、三十にして立ち、四十にして惑わず」と続く。孔子のように、十五歳のとき学問で身を立てようという決心する」とまではいかないが、十五歳で少なくとも進学校を選んだ私達は、大学への受験競争に挑むこととなる。この時期私は、県内屈指の進学校といわれた南高で貴重な劣等生体験をすることになった。それは、中学時代、剣道・三重県三位の経験がありながら、高校の県大会では何度も惨敗を繰り返したことである。勉学にも十分に手が付かず、幼少から文武両道と教育されていた私は、決して優秀な生徒ではなかった。

大学に進学した私は、自分の進む道を明確にしていく経験を積み重ねることとなった。一年生の夏、日本一周の一人旅をし、訪れた街々で郷土に誇りを持つ人々と出会うことが開眼の契機となり、その後、郷土の発展は政治の責任と考え、雄辯部に所属し政治家を志すこととなる。大学卒業後、IBMに入社し、働きながら夜学に通い政治学や憲法を学び、二十八歳の時、IBM役員の推薦で衆議院議員岡田克也氏の秘書に着任した。前述した孔子の言葉「三十而立」とは、三十歳で自分なりの基礎を確立すると解するそうである。三十三歳で立候補することになるまで、多くの方々のご指導を賜り、議会人としての基礎を確立する経験をさせていたでいたことに心から感謝している。今年、議員として二期八年目となり四十一歳になる。政治の道を志してから二十年近くになるわけだが、大学時代に学んだ地方自治論などは全く通用しない。ご承知のように地方分権への三位一体改革、道州制議論など新時代に突入している。その為、一念発起して大学院を受験し、現在、院生として月二回程度、早稲田で政治制度の研究を行なっている。孔子の言葉「不惑」の四十歳を迎え、着眼大局の政治家を目指して確信を持って研鑽を積み続けたいと思う。

南高には「誇りを胸に」と記された石碑がある。この言葉は、谷川俊太郎先生の作詞による校歌の一節「ふるさとの誇りを胸に」を引用したのだが、政治家として、誇りある郷土の創生に全力を尽さなくてははいけないうと心に刻んでいる言葉である。



# 教育実習

今年も教育実習が行われました。第41〜42期生の方々に感想をお聞きしました。

## 杉山拓実

41期生

私は今回実習に来ることができ、非常に嬉しく思います。高校時代、病気等によって少しづつ高校生活を送ったためです。けれども実習生としてこの高校に来ることができ、つらい思い出が少しずつ溶けていきました。

実習が始まった頃というのは、何もかもが初めての体験で、毎日を精一杯過ごすのがやっとでした。しかし、一週目になると少し気持ちに余裕が出てきて、先生方のご指導もあり、実習生から一人の先生なんだという気持ちが出てきました。

## 西尾恵理

42期生

今回教育実習生として、母校である四日市南高校にまたお世話になりました。初めのうちは緊張や不安な気持ちが強くて、生徒にとって自信のない様子を見せるべきではないのに、そういった部分を感じさせてしまっていたと思います。

しかし、今も昔も変わらない優しい南高生と接し、実習生を身近に感じ、受け入れてくれる姿から、皆さんの自信を与えてもらえた。生徒の貴重な時間を自分の授業に使ってもらったことや、それを学習面でも心構えの部分でも全面的に支えてくれた先生方、生徒、すべての方々に感謝しています。

## 瀬古知世

42期生

実習が始まるまでは三週間は長いと思っていましたが、実際終わってしまおうと「早かったなあ」と感じました。

最初のSHRは、生徒の顔を見る余裕もなく連絡事項を伝えることで精一杯でした。でも、最後のSHRでは、生徒一人一人の顔を見て話すことができるようになりまし。化学の授業でも初めは生徒に少しでも解り

## 旭 瞳子

42期生

「南高に来てよかった」。この事を何よりも一番感じました。

## 口廣香奈

42期生

教育実習が始まる前は、不安な思いでいっぱいでした。しかし、元気いっぱいな生徒達は、とても暖かく接してくれて、そんな思いを一瞬で吹っ飛ばしてくれました。毎日生徒達に会うのが楽しみで仕方ありませんでした。また、先生方はとても熱心で細かな部分まで親身になってご指導して下さいました。三週間は長いと思っていました。三週間という間に過ぎてしまいましたが、この実習を通して、語り尽くせないくらいたくさんの方々の貴重な経験をする事ができました。ご指導下さった先生方、暖かく見守ってくれた生徒に感謝の気持ちでいっぱいです。

## 鈴木千賀

42期生

ついに自分が教育実習をする時がやってきました。指導案を書いたり授業で使うパワーポイントや配布プリントを作ったりと、実習が始まると本当に慌ただしく日々が過ぎていったように感じます。久しぶりの南高で実習生として前に立ち、生徒からは先生と呼ばれ少し恥ずかし



# 躍進する部活動

## ワンダーフォーゲル部

安平路道中央アルプス縦走、石徹白より白山全山縦走初め、魅力ある山を求め精力的に活動。男女15名と県下最大。今夏は立山薬師縦走。季節を感じ山を楽しむ食を愛でる為に日々鍛錬。女子東海大会5年、インターハイ4年連続出場。今東海大会優勝。男子東海大会2年連続出場と競技登山もやるが山を楽しむクラブ。

## 柔道部

県総体女子団体戦準優勝 この成果がチームとしての進歩です。女子個人で小林未来は今年もインターハイ出場。5位入賞を果たした。しかし個人ではなく、男子も女子も「部員全員」の成果です。毎日「精神的」に追い込んで稽古するのは、先輩から引き継がれてきた南高柔道部の大切な「魂」です。諸先輩方には多面より支援していただき感謝しています。今後ともご声援よろしくお願い致します。

## 硬式野球部

野球部は現在1年生から3年生まで47名で夏・秋の大会に向けて活動を行っています。結成以来掲げてきた「全員野球」を常に意識して47名一丸となって練習しています。一つの大きな目標「甲子園に行く」と、より強い決意を固め、より強い絆で邁進していきます。

## 箏曲部

箏曲部は、毎年8月に津リージョンプラザで演奏会が開催され、県下14校日頃の練習の成果を競います。南高校も毎年参加しています。本年も演奏会に向けてレベルの高い曲に挑戦し、猛練習に励んでいます。

## ソフトテニス部

私たちは、男女合わせて22人で活動しています。先輩と後輩の仲がとて良いので、毎日楽しく練習しています。大会ではなかなか良い結果が残せず、悔しい思いもしますが、次の大会では一勝でも多く勝てるように、日々の練習ではそれぞれがお互いの技術を高め合いながら頑張っています。

## バスケットボール部

今年度は1年生22名(男子14名、女子8名)で活動しています。今年度は1年生22名(男子14名、女子8名)で活動しています。

## これから教育実習を希望される予定の皆さんへ

教育実習の申し込み期間は、実習年度の前年の4月10日から5月15日です。その間の平日に、事前に総務部と連絡を取り、本人が直接来校して手続きをしてください。

女子8)、2年生31名(男子17、女子14)で、男女とも県大会上位進出を目指しています。プレーの向上はもちろんです。マナーや精神力を日々の練習を通して身につけることを目標としています。

書道部

部員は非常に熱心で意欲的に作品制作に取り組んでいます。日々の練習の中で書の持つ独特の魅力を感じ、また書を通して感動を与えられるような作品作りができるよう励んでいます。本年度も高祭、三重県高等学校文化祭書道部門に出品の予定です。

軽音楽同好会

新入生が20名以上入会し40名を超える会員数となりました。人数が多くなると各自の練習場が狭小で、各パート別に集まって上級生が下級生に楽器の演奏方法を教える「講座」を行うなど、工夫しながら楽しく一生懸命に活動しています。



東海大会に出場を果たした水泳部

水泳部

『努力は、実を結ぶ』目立った結果は残せないが、コツコツと積み上げてきた練習の成果として、東海大会出場権は昨年を上回り、個人12種目、リレー5種目でした。

『継続は力なり』

どんな場面でもどのような状況下でも自分を信じ、仲間とともに歩んでいってほしいと望んでいます。

インターアクト部

奉仕と国際理解を基本に据えて、四日市ロータリークラブの支援をいただきながら、募金活動・老人施設訪問・赤十字献血・英語でつながる多文化理解に取り組んでいます。

テニス部

コート面数の少ない中、一つのプレーにこだわりを持ち、互いに刺激し合いながら全力で練習に取り組んでいます。

ハンドボール部

新チームとして活動を始めたが、時代とともに生徒の考え方も変わりつつある感じがします。楽しくやっていきたいと思う人、自分に実力をつけ負けたくない

と思う人等です。

自分の意見を出し合いお互いを理解することが苦手なようです。男子はチャンスの年です。達成してほしいものです。

電算無線部

電算無線部の主な活動内容に四日市南高校公式ホームページの更新作業があります。学校行事など各種情報をリアルタイムで発信しておりますので、<http://www.4nan.jp>

バレーボール部

男女ともに惜しくも初戦で敗退した県総体をもって、3年生は引退しました。現在、男子15名、女子15名が活動しています。今年度から新たな指導者も加わって、いっそう元気よく練習に励んでいます。

吹奏楽

3月30日の第十八回定期演奏会では、千名を超える来場者に恵まれ、盛会のうちに無事終了することができました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

演劇部

昨年度の県大会では生徒創作(黒田めぐみ・作)の『居酒屋カントリーズ』を上演。見事1位、泉知事賞、創作脚本賞に輝き、三重県代表として富山県での中

部大会に出場しました。

女子中学生が、音楽への情熱と家族への気兼ねの狭間で悩み、乗り越えていく姿を描きました。また、北勢春季大会では金賞を受賞しました。

サッカー部(男子)

現在、身近な目標として掲げた我がサッカー部の目標だ。今年の3年生は見事に目標を達成した。最後の四重工の試合は負けて悔しくて泣いた。でも、少し一人前のサッカー部、サッカープレイヤーになれた気がする。この目標を最低条件にできるように努力するつもりです。

応援団・バトン部

生徒会直属部で、応援団8人、バトン部19人の総勢27人。毎年6月末から、夏の高校野球応援に向け練習を始めます。活動は短期間ですが、伝統を守るため、OBの方が時間を割いて指導に来てくれます。今後は、活動期間が長く多くのクラブの応援が出来ればと・・・。

音楽部

音楽部は、今年は9名の新入部員を迎え総勢15名で、毎日仲良く活動しています。6月には三重県合唱祭に参加しました。

8月には数年ぶりに合唱コンクールに出場することになり、部員一同よりよい演奏ができるよう日々練習に励んでいるところです。OBのみなさんまた部屋に顔を出してください。

剣道部

現在、1年生男子1名、2年

男子1名・女子4名の計6名で

新設2年目の武道場で汗を流しております。秋からは、女子団体のチームで各大会に出場予定です。OBとの合同練習会も毎年8月に開催しております。

新聞部

四日市南高新聞は、今年度よりシンボルマークを定め、不定期発行から、『月刊発行 四日市南高新聞』へ、カタチを変え、新たにスタートしました。紙面の全面リニューアルを行い、新聞の形態を残しつつ週刊誌に近づけた記事タイトルを最大の特徴として、他紙に無いスタイルを創り続けています。

茶道部

羽木千鶴子先生のご指導のもと、表千家のお点前を稽古しています。今年には総勢27人の部員となり週一回の活動では不十分なので、火曜日にも2年生を中心に生徒達だけで稽古をするようになりました。

美術部

2・3年が3名ずつで少なくなりつつあった所、1年生が9名入部し活気を取り戻しました。

例年通り大王崎への制作合宿をはじめ、昨年から企画でもある、四日市アピタ前の公園での電飾パネル展示(アトイルミネーション)も予定しています。11月末から1ヶ月程展示(点灯)しますので通りかかった時は是非ご覧下さい。

バドミントン部

部員は男子が23名、女子が39名です。元気でやる気満々の新入部員が男女で31名入部してくれました。練習は平日、土日も休みなく、熱心に励んでいます。秋以降の公式戦が大変楽しみな活動状況です。

5月の県総体団体戦は、男子がベスト16、女子は2回戦に進出。昨年の秋季大会団体戦では男子がベスト8(5位)でした。また、今春の四日市市民バドミントン大会高校生の部ダブルスで、後藤良輔・高田駿佑ペアが見事優勝してくれました。

天文部

本年度は顧問も新たに部員11名で活動しています。年度当初から天候に恵まれず、継続的な太陽黒点の観測も不十分です。いっそうのこと、気象観測も活動内容に組み込もうかと画策中です。

そんな中、部員たちは機材の手入れや、観測の勉強を進め、夏以降天候が安定するのを期待しつつ、準備をしております。天文分野に携わっていらっしゃるか、OB・OGの方の経験談などお寄せいただければ幸いです。

放送映画部

学校紹介のビデオの制作や清掃工場を見学取材してきたことをビデオにまとめ発表しました。文化祭では昨年同様F.M四日市さんの協力を得て文化祭の様子を実況生中継しています。他に自作の映画も制作する予定です。

# 2005年度 進路状況

創立50周年を2年後に控え、今年度当初から校内に50周年事業準備委員会を設け、記念事業の内容や資金繰り等について検討してまいりました。同窓会やPTAの代表の方々にもご相談申し上げ、ようやく6月職員会議において、①記念式典、②モニメントの製作、③記念誌およびDVDの作成、④記念品の配布の4つの事業項目を決定いたしました。

## 50周年記念事業進捗状況

うち、モニメントの製作と記念品の配布については同窓会にお世話いただくことになっております。その他につきましてはPTAからの資金援助と寄付金の募集により賄う予定しております。

以上の事業項目決定にともない、新たに、校内に実行委員会と4つの小委員会(式典・セレモニー委員会、記念誌委員会、DVD委員会、寄付集め委員会)を設置いたしました。今後これらの小委員会が各事業の具体的内容について立案、実施していく予定です。

同窓会におかれましては、何かとお世話をおかけしますが、ご協力のほどよろしくお願い致します。

(教頭 結城義一)

本年度の卒業生数は、8クラス(内、数理コース2クラス)の合計317名です。進学者数は289名(内男子138名)で、全体の91%が進学しました。ただし、残り8.8%の内8.5%は浪人生です。

数理コースは卒業生の64%が国立大学に、27%が私立大学に進学しています。学年全体の30%が国立大学の進学者で占められています。

国立大学の延べ受験者数は276名、合格者数は105名、入学者数は94名です。合格率は38%(入学率は89.5%)でした。国立4年制大学の現役生と過年度生合計の合格者数は109名になります。

国立大学の学部別の特徴では工学部系統の合格者比率が50.5%(昨年51.0%)と過半数を占めており、例年のことながら本校の大きな特徴となっております。ついで、教育(11.4%)、農林・畜産(10.5%)の順となります。

教育学部は全国的に人気があり、本校でも同様な傾向を見ることが出来ます。農学系統の多さは今年度の特徴です。合格者の過半数を占める工学部は全国的に人気低下傾向です。

本校では卒業生の過半数が理系選択生徒であり、また、国立大学では工学部が多く開講されていること、同系統では国

公立大が私立大よりも教育、就職環境に優れるため、多くの生徒が全国的な視野を持って国立大の受験校選択をおこなっています。

後期日程廃止で注目された愛知教育大、三重大ですが、廃止の影響は本校ではあまり認められませんでした。三重大学文学部では、昨年易化の反動から多くの志願者を集めて厳しい入試となり、不合格者が多く出てしまいました。逆に、三重県立看護大では易化が顕著で過去最多の合格者数となりました。

私立4年制大学では、延べ受験者数1352名、重複を除く受験者数は269名でした。平均併願数は5.03(昨年5.04)になりました。私立大学受験者動向における特徴をまとめると、第一は一般入試前期日程が昨年比34%(実人数213名)増加したことです。しかし、センター利用前期は昨年比10%の減となりました。

第二は一般入試後期日程の大幅減(昨年比79%減)です。後期日程減の理由は、前期増加の反動もありませんが、私大入試でセンター利用前期、一般入試前期とも合格率が高く(一般前期43%、センター利用前期55%)、後期まで粘る必要がなかった結果です。生徒の粘りがなくなった訳ではもちろんありません。

同窓会名鑑を作成するという名目で、調査ハガキが多くの同窓会員に郵送されており、往復ハガキ等で高額な名簿の購入を勧める等の手口です。これらは南高校同窓会とは一切関係はありませんのでご注意ください。正規の同窓会名簿は13年度に発行済みです。

センター試験の実施時期が遅くなったことで、センター利用前期入試の出願締切日を自己採点結果前に変更する大学は多かったのですが、その事でセンター利用出願者が増加したという状況にはなっていません。

私立大学学部別の合格状況は、工学系が39%と群を抜いて多く、国立大と同じ傾向になっています。ついで、文学系(17.2%)、社会学系(10.4%)となります。工学系が多いのは理系選択生徒が多いことによるものを中心です。

ただし、私立大では合格学部選択肢の幅は国立大に比べ格段に広がっています。まず第一に、文系系統の比率が高くなります。これは、名古屋圏を中心として通学可能な有力私大が多くあることで、女子受験層中心に受験者を集めていることが最大の原因です。皇學館大では教育系統が文学部にあるため、教育志願者が系統に反映されてこない一面もあります。

本校では全国的志望動向にわける法学、経済両系統への志望者増加の顕著な事例は認められず、例年並みの志願者数でした。また、語学、家政、社会学系は例年通りの安定した志願者数で推移しました。

今後とも地域の期待を担う進学校として大いに飛躍したいと考えております。先輩諸氏のご指導・鞭撻をお願い致します。

(進路指導部 三枝 義久)

### 2005年入試 大学合格者数(浪人含む)

大学名	合格	大学名	合格	大学名	合格	大学名	合格	大学名	合格	大学名	合格				
北見工業	1	福岡教育	1	千葉工業	1	神奈川工科	2	金城学院	19	東海学園	3	京都嵯峨芸術	1		
北海道	1	宮崎	1	東京情報	1	関東学院	1	椋山女学園	10	桜花学園	1	大阪学院	1	大阪学院	1
東北	1	国立大学計	79	北里	2	東洋英和女学院	1	大同工業	18	名古屋文理	3	大阪芸術	1	大阪工業	3
茨城	1	秋田県立	3	慶應義塾	1	フェリス女学院	1	中京	44	愛知工科	2	大阪電気通信	1	関西	7
東京農工	1	前橋工科	1	工学院	1	金沢工業	11	中京女子	11	名古屋産業	1	大阪電気通信	1	近畿	23
富山	4	富山県立	2	芝浦工業	1	北陸	1	中部	31	人間環境	3	関西	7	摂南	1
金沢	3	金沢美術工芸	1	女子美術	2	福井工業	2	豊田工業	1	皇學館	19	近畿	23	摂南	1
福井	4	福井県立	3	創価	2	清泉女学院	1	名古屋音楽	1	鈴鹿医療科学	26	摂南	1	桃山学院	1
山梨	1	都留文科	3	拓殖	1	岐阜女子	3	名古屋外国語	6	四日市	2	桃山学院	1	関西福祉科学	1
信州	7	愛知県立	2	多摩美術	1	岐阜聖徳学園	1	名古屋学院	1	長浜バイオ	2	関西福祉科学	1	関西学院	3
静岡	6	愛知県立芸術	2	東京工科	1	東海女子	2	名古屋経済	2	びわこ成蹊	1	甲南	1	神戸芸術工科	2
愛知教育	4	名古屋市立	2	東京造形	2	聖隷クリストフ	1	名古屋芸術	2	京都外国語	1	甲南	1	神戸女子	1
名古屋	6	三重県立看護	6	東京理科	5	浜松	3	名古屋商科	5	京都産業	4	神戸女子	1	帝塚山	1
名古屋工業	11	滋賀県立	1	東洋	1	名古屋学芸	6	名古屋女子	23	京都女子	1	神戸女子	1	帝塚山	1
三重	19	大阪市立	1	日本	4	愛知	3	名古屋造形芸術	2	京都精華	1	神戸女子	1	近畿福祉	1
鳥取	1	大阪府立	1	日本女子体育	1	愛知学院	15	藤田保健衛生	4	京都造形芸術	2	近畿福祉	1	岡山理科	1
鳥根	1	兵庫県立	1	法政	1	愛知医科	2	南山	31	京都光華女子	1	徳島文理	1	九州保健福祉	1
岡山	2	岡山県立	1	武蔵工業	2	愛知工業	37	日本福祉	12	同志社	16	徳島文理	1	私立大学計	668
徳島	1	公立大学計	30	明治	3	愛知淑徳	30	名城	101	立命館	36	九州保健福祉	1		
愛媛	2	仙台	1	東京工芸	1	愛知学泉	2	愛知みずほ	1	龍谷	6				

ご注意ください。

同窓会名鑑を作成するという名目で、調査ハガキが多くの同窓会員に郵送されており、往復ハガキ等で高額な名簿の購入を勧める等の手口です。これらは南高校同窓会とは一切関係はありませんのでご注意ください。正規の同窓会名簿は13年度に発行済みです。

# 先生お元気ですか？

長年本校に勤務され、退職または転勤された先生方にアンケート形式の質問に答えていただきました。

## 【アンケート項目】

- ① 南高を転退職されてから何年になりますか。
- ② 現在のお勤め先(お仕事)と併せて近況をお聞かせください。
- ③ 趣味あるいは余暇の活用などの様子をお聞かせください。
- ④ 南高時代の最も印象に残っていることはどんなことですか。
- ⑤ 南高及び南高生、同窓生にご助言、メッセージをお願いします。

## 服部 匠 悟 先生

① 昭和五十六年から十一年間勤務して、平成四年に四日市商業高校へ転勤、平成十一年に南高に戻って(三重県高等学校体育連盟理事長として四年間)、平成十五年に県教育委員会へ異動しましたから四年がたちます。

② 津西高校です。南高から県教育委員会に異動して二年間勤務、平成十七年から津西高校に勤務して二年目になります。やはり、生徒が周りにいるので、若返った気分になります。しかし、授業をもっていませんので、寂しい気持ちがあります。月に一度か二度、土・日曜日にバスケットボール部(男・女)の指導を手伝うのが楽しみです。

③ バスケットボールの試合や練習を見たりして、何も昔と変わっていません。

④ 担任もしましたが、やはり最初の十一年間、また高体連の四年間の時でも、やはりバスケットボール部の思い出が一



番印象に強く残っています。女子で二位になり東海大会へ行ったこと、男子で悪くても二位を思っていたら(いつも、優勝しか狙っていませんが)、選手の怪我等で三位になったり、試合でふがいない負け方をして(相手は優勝チームですが)男子全員に「坊主になるか? やめるか?」と言ったら、全員が坊主になり、二年生は修学旅行前だったの

で坊主頭で参加したこと。今そこまで出来る生徒はいるかどうかわかりませんが。大阪遠征で女子に会場から旅館まで走って帰らせたり、無茶な事ばかりしてました。勝てると思っていたら負けたり、うまく作戦がはまり勝てたり、その繰り返しでした。良い生徒に恵まれたと感謝しています。

⑤ 校歌にある「誇りを胸に」という言葉が大好きです。部旗にもその言葉を入れて作りましたが、その言葉の持つ意味を考えて、行動していつて欲しいと思います。そして自分の夢に勝ってください。

## 教職員移動

平成十七年度末(敬称略)

### 【退職】

国語 古市 史  
国語 倉田馨圓  
地歴 阪野 優

### 【転出】

国語 藤原 歩 <飯野高校>  
国語 加藤士朗 <川越高校>  
地歴 名草信成 <四日市西高校>  
数学 水谷 等 <飯野高校>  
物理 伊藤敏彦 <津工業高校>  
英語 津田東二 <飯野高校>

### 【転出先】

### 【転入】

英語 土井菊美 <四日市四郷高校>  
家庭 植田栄子 <稲生高校>

### 【前任校】

国語 伊藤三男 <稲生高校>  
国語 菊間あおい <四日市商業高校>  
国語 川村和子 <新採用>  
地歴 大島 健 <石薬師高校>  
地歴 廣森 智 <四日市西高校>  
数学 久保田紀子 <朝明高校>  
物理 榎本義一 <新採用>  
英語 杉本吾郎 <津市立西橋内中>  
英語 羽野雅彦 <上野商業高校>  
家庭 市谷万里 <飯野高校>

## 平成18年度

### 四日市南高校

### 同窓会学年幹事会

### 総会報告

#### 一 開催日時

平成18年8月12日(土)  
PM 2時～学年幹事会  
PM 3時30分～総会  
PM 4時20分～懇親会  
PM 5時45分終了

#### 二 場所

四日市都ホテル3F

#### 三 参加人数

87名

#### 四 内容

- ・【学年幹事会】出席者 23名
- ・50周年の記念事業について
- ・学年幹事会を今後定例化したという役員からの要望説明
- ・記念事業の内、モニュメント作成や記念品に関わる部分での出費は寄付でまかなえない部分は同窓会の会計から出費を行う案の説明
- ・学校の組織体制に対しての要望や質問が出され、学校に残る記念モニュメント作成などには同窓生から作者の選出を等の要望あり

#### 【総会】

- I 会長挨拶  
会長 粕谷邦男様  
何もなかったあの丘を学校にしてきた50年の歴史を刻む、すばらしい記念事業を行った。
- II 学校長挨拶  
教頭 結城義一様  
学校の近況報告と同窓会総会への祝福

#### III 会計報告

会計 小柳秀樹様  
会計報告書の説明と今年度の特徴的事項の説明  
17年度の会報全員発送における出費がかさむ結果

#### IV 役員改選

前年度役員および理事は全員留任

#### V 50周年記念事業へ向けての報告

教頭 結城義一様  
各役割ごとの委員会が発足して動き始めている。

- ① 式典・セレモニー委員会
- ② 記念誌委員会
- ③ DVD委員会
- ④ 寄付集め委員会

やはり資金繰りが大きな問題  
学校側の資金では全く何もできないので同窓会の協力をぜひともお願いします。

#### VI 来年からは懇親会は有料化を検討

学校長  
事務次長  
教諭  
" "  
" "

## 同窓会役員

会 長	粕谷邦男	(2期)
副会長	田中 正	(2期)
	山路 熟	(14期)
	村野玉紀	(16期)
書 記	大日方敏之	(15期)
	水谷正美	(23期)
会 計	小柳秀樹	(20期)
	石原正敬	(29期)
【学校側】		
顧問	中村秀文	学校長
計 画	大森恵美子	事務次長
理 事	鈴木正司	教諭
	浦田 治	" "
	川井田真澄	" "
	城 利英	" "

連絡先  
〒510-8562 四日市市日永岡山4917  
三重県立四日市南高等学校同窓会事務局  
TEL. 059-345-3177・3178  
FAX. 059-345-9549  
http://www.4nan.jp/~dousou/  
E-mail do-so@4nan.jp

## 平成19年度 学年幹事会・総会及び懇親会〈予告〉

開催日時：平成19年8月11日(土)  
午後2時より学年幹事会  
午後3時より総会

開催場所：四日市都ホテル3F

会計報告など総会(30分程度)、立食パーティー形式の懇親会を予定しております。

#### VII 懇親会

総会終了後、同会場にて懇親会。5時45分散会